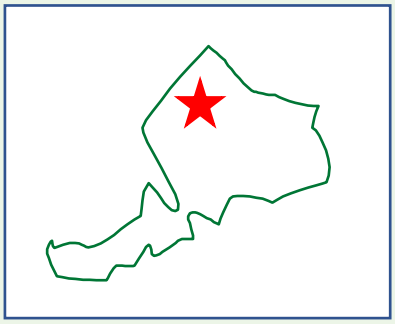
あわら坂井グリーン農業普及拡大協議会(福井県あわら市及び坂井市全域)

構成員：県坂井農林総合事務所、福井県農業協同組合、あわら市、坂井市

背景・課題

両市ではこれまで緑肥を活用した米づくりなど環境にやさしい農業に取り組んでおり、また、SDGｓが社会的に認知されるなど、これまで以上に環境にやさしい農業の広がりが求められている。しかし、環境にやさしい農業は労力を多く必要とするため、普及拡大になかなか繋がっていない状況にある。



みどり戦略実現に向けて

マイクロプラスチックの海洋流出を防ぐため、大麦栽培においてプラスチック被覆肥料の使用割合を減らすため、硫黄コート肥料の施用を検証。硫黄コートは微生物が分解する生分解性資材であり、同資材が拡大することで、みどりの食料システム戦略への寄与が期待。

加えて、無人ヘリやドローン等を用いた省力的分施技術を検証。

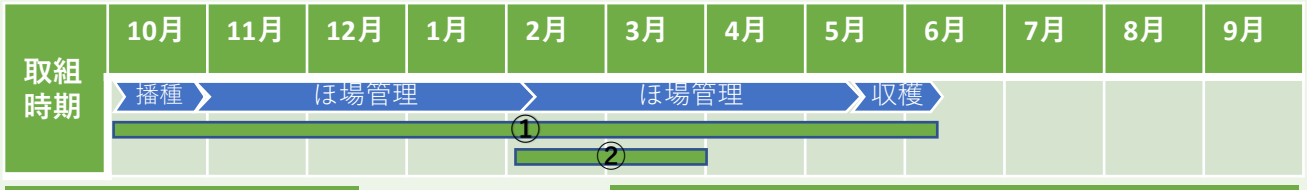
マイクロプラスチック問題について
協議会参加農家に周知している様子

環境負荷低減の取組

〇プラスチック被覆肥料対策（現在の栽培体系からの使用料低減）

検討するグリーンな栽培体系

①省力化：ドローンや無人ヘリによる省力的分施の導入（施肥回数の削減）
②プラスチック被覆肥料対策：硫黄コート肥料の導入



①硫黄コート肥料の導入

②ドローンや無人ヘリによる省力的分施の導入

問い合わせ先

福井県坂井農林総合事務所　TEL0776－84-8043